

(アクティビティ名)

絵本ならべ (PARAさん Ver.)

(概要・価値: こんなことができるよ・学べるよ)

- ・言葉のキャッチボールができるよ。
- ・自分のことを言うだけでなく相手のこともよく聞くと、お互いを理解できるよ。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク

ウォームアップ

チョイ恥ずかし系

・自己紹介 ・他己紹介

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学校低学年以上

10人程度以上

30~50分

(絵本カードのページ数分の人数)

(準備物)

絵本カード (お話入り Ver. 絵のみ Ver.)

(手順)

- 1 参加者は輪になって座る。
- 2 ファシリテーターが絵本カードを裏返しにしてランダムに参加者に配る。
- 3 参加者は、ファシリテーターの指示で、配られたカードを他人に見せないように自分だけで見る。
- 4 「配られたカード1枚1枚に、みんなのよく知っている絵本のお話があります。出会った人と1対1で絵を見せずに話し合いながら、一人ひとりのお話をつなげて順番に並び、1つの絵本にしてください。」と伝える。
- 5 質問がなければ、カードを見せないようにもって移動し、出会った人に自分のカードの中身を伝えたり、相手のカードの話を聞いたりしながら、お話の順番通りに輪になって並ぶ。

(ふりかえり or ワンポイント...安全面も含め)

- ・ 何に気をつけて自分のカードのことを話した?
- ・ どんなことに気をつけて他の人の話を聞いた?
- ・ 今の自分の並び場所、何がきっかけでそこに並んだのでしょうか?
- ・ 難しかったのはどんなことですか?
- ・ 順番を決める上ために、友だちの言動で何かヒントになることがありましたか? あったとしたらそれはどんなことですか?
- ・ 並ぶ上で、接続語などに意識を向けやすい学習環境が提供でき、国語でも活用できそう。

※ 絵本の活用の際して、著作権に留意する必要がある。

(アクティビティ名)

PARAさんオリジナル (つるのおんがえし Ver.)

(概要・価値: こんなことができるよ・学べるよ)

- ・ コミュニケーション、自分の考え、思いを伝える、相手の説明を聞く。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク ウォームアップ チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学校中学年～

最低10人くらい?

15～30分

(教材によっては対応可)

(準備物)

お話 (物語を分ける) 一人1枚

(手順)

- 1 説明「みんなが知っている物語、1つひとつのお話を作って物語にしてください。ルールは絵を見せないで伝えること。」
- 2 活動「文章を読む。」「絵の説明をする。」「～さんと近いよ (アドバイス)」
- 3 みんなで確認 (絵を見せながら文章を読む。)
- 4 ふりかえり

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ ルール化し過ぎない。明確化する。
 - ・ グループのルールアイデアを褒める←自分たちで考える。決めることの大切さ
 - ・ どんな伝え方をしたら伝わりやすかった?
 - ・ どんな伝え方が聞きやすかった?
- } 自分と相手を大切に
することが大事だね!!

(アクティビティ名)

物語を作ろう

(概要・価値：こんなことができるよ・学べるよ)

- ・友達とたくさん話せる。伝え合える。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク ウォームアップ チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学校1年生以上

5人以上?

10~20分

(準備物)

絵本・紙芝居の写し (※1枚ずつバラにして)

(手順)

- 1 お話を伏せてみんなに配る。
- 2 ルール (絵を見せてはいけない) を説明する。
- 3 お互いに自分のお話を説明しながら物語にしていく。
- 4 時間になったら話が流れるかをみんなでチェックする。

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ 著作権に注意
- ・ 言葉を伝える、言葉に意識する、といったことができる。

(アクティビティ名)

つるのおんがえし (絵本並べ)

(概要・価値：こんなことができるよ・学べるよ)

- ・言葉だけで絵を見ずにストーリーをつなげていく面白さがある。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク ウォームアップ チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

(準備物)

絵本 (例：つるのおんがえし) など、人数に合ったカードを用意

(手順)

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ 簡単に考えていたけど、言葉一つひとつにこだわれば、深みのある活動だと思った。

(アクティビティ名)

つるのおんがえし (ZOOM Ver.)

(概要・価値: こんなことができるよ・学べるよ)

- ・あのZOOMの低学年 Ver.
- ・お話をつなげる際の言葉 意味のつながりの大切さ 言語活動

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク ウォームアップ チョイ恥ずかし系

- ・昔話の読み聞かせ

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

低学年～

ページ数以下

一単位時間 (45分)

(準備物)

日本昔話やイソップ物語の絵本ページパウチ

(手順)

- 1 パウチした絵本のページを人数分配る。
- 2 絵を見せないで互いに自分の絵の説明 (お話) をする。
- 3 お話の順番通りに並ぶ。
- 4 絵を表にし、みんなに見せて絵本を読む。

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・子どもたちに物語を紹介するひとつのアイテム。
- ・文脈を考える「つなげる」言語活動の良い教材。

(アクティビティ名)

言葉のキャッチボール (フライドチキン)

(概要・価値: こんなことができるよ・学べるよ)

- ・生徒指導的な発想でAFPYを考えられる。(日頃の言葉・行動・態度で)
- ・道徳としても… 心を揺さぶる… これも可能。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク ウォームアップ チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

(準備物)

(手順)

- ・シートでボールもしくは人形を飛ばしていく活動。
- ・自分のグループ同士で慣らす。
- ・他のグループとボールを交換してキャッチする。
- ・何回かそれぞれの活動で試行錯誤しながら、みんなで仲良く活動する。

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ボールや人形を言葉に喩える。…それをもとに、日頃の言葉や行動、態度をふりかえってみる機会とする。

(アクティビティ名)

フライドチキン

(概要・価値：こんなことができるよ・学べるよ)

- ・生徒指導で使える！（友達への応対についての体験的アプローチ）
- ・人の言動（思い）の伝え方や受け止め方を体験的にふりかえられる。

(タイプ)

アイスブレイク ウォームアップ チョイ恥ずかし系

(事前に必要な体験)

・自己紹介 ・他己紹介

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

小学校低学年以上

(人数)

1チーム10人程度

(所要時間)

30～50分

複数（2～3）チーム

(準備物)

ラバーチキン（ラグビー&フリースボール等可）

ビニールシート（グループ数分）

(手順)

※ グループに1枚ずつ配ったビニールシートを、グループ毎に全員が広げて持つ。

※ 広げたシートにラバーチキンを乗せる。

A1 ビニールシートを上下に揺らし、チキンを空中に放り上げた後、地面に落とさないようにシートでキャッチする。

A2 グループで落とさないように何回続けるか目標を決め、挑戦する。

B1 グループ同士でシートを使ってチキンを交換し合う。

B2 落とさないように何回キャッチボールが続けられるか目標を決め、挑戦する。

C1 グループが3つ以上の場合、1対1のパス形式ではなく、全グループが、必ず別のグループのチキンを一斉に交換し合えるように挑戦する。

※ ふりかえる。

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ チキンを放り上げ続けるために気をつけたことって何？
- ・ 他のグループとキャッチボールできるようにするために、どんなことに気をつけた？（うまくいった要因は？ 続かなかった要因は？）
- ・ ふりかえりの際、シートを“口”、チキンを“口から発せられた言葉”と比喻して、グループ交換キャッチの際に、投げる時に気をつけたことと、受け止める時に気をつけたことについて、意見交換できる機会をもつのもあり。

(アクティビティ名)

フライドチキン

(概要・価値：こんなことができるよ・学べるよ)

- ・言葉の大切さ 協力・相手のことを考える。
- ・言葉のキャッチボールを考える。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク

ウォームアップ

チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学校中学年～

10～40人

30分～

(準備物)

- ・ブルーシート (ハトメの部分はガムテープで隠す→ケガ防止) 2枚以上 (グループの数)
- ・ラバーチキン、ラバーピッグ…フリースボール等でも可

(手順)

- 1 グループに分け (5～10人)、ブルーシートをみんなで持つ。
- 2 シートの上にチキンを置き、空中に投げ上げキャッチする。(課題例：10回連続キャッチ)
- 3 他のグループと空中で交換しあう。(2グループ…交換、3グループ…回す)

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ どうすれば上手にできる？
- ・ 自分はどうやって関わった？
- ・ うまくいった時のポイントは？
- ・ チキンを言葉に例えるとどう？

(アクティビティ名)

フライングチキン (フライドチキン)

(概要・価値: こんなことができるよ・学べるよ)

- ・自分の発した言葉、態度、仕草、雰囲気は相手にどう伝わっているのか。
- ・周りの人に対する関わり方
- ・相手の振る舞いに対して自分がどう感じているのか。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク ウォームアップ チョイ恥ずかし系
 コミュニケーション 課題解決系 信頼関係を高める

- ・雰囲気、タイミングを合わせる活動

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学校3・4年くらい

10~30人

15~30分

(準備物)

- ・ブルーシートをグループの数
- ・ラバーチキン、ピッグ or フリースボール

(手順)

- 1 シートとチキンなどをグループに1つずつ渡す。
- 2 シートをグループ内で持ち、その上にチキンなどを乗せる。
- 3 10回“チキンなどを投げる→キャッチする”を行う。
できたグループから座る。
- 4 グループ間で、“チキンなどを投げる→キャッチする”を行う。
- 5 何回かチャレンジして、キリの良い時に止める。
- 6 ふりかえり。→ どうだった?…

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ どんなことに気をつけながらやった?
- ・ (ボール) チキンを言葉と見なすとどう?
取りにくいもの、落ちてしまったものはどんな言葉?
- ・ 自分たちの発している言葉はどう?

(アクティビティ名)

フライドチキン

(概要・価値: こんなことができるよ・学べるよ)

- ・言葉のキャッチボールって？
- ・協力してやってみよう。

(タイプ)

(事前に必要な体験)

アイスブレイク

ウォームアップ

チョイ恥ずかし系

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

(人数)

(所要時間)

小学生～

1つのシート10人まで？

20分 (ウォーミングアップ含めて45分)

(準備物)

- ・シート
- ・ラバーチキン or フリースボール

(手順)

- 1 シートをみんなで持って、中のチキン(フリースボール)を投げて受け止める。
- 2 10回続けてみよう。(予行練習)
- 3 2～3チームに分かれて、相手のボールをシートでキャッチしてみよう！

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

《協力系》

- ・受け止めるために工夫したことがある？
- ・どんな声が聞こえた？

《コミュニケーション》

- ・これが言葉だとするとどんな言葉(ボール)は受け止められない？
- ・自分は言葉をかけている？

(アクティビティ名)

フライドチキン

(概要・価値：こんなことができるよ・学べるよ)

- ・グループで力を合わせてでき、成功したら達成感がある。

(タイプ)

アイスブレイク

ウォームアップ

チョイ恥ずかし系

(事前に必要な体験)

コミュニケーション

課題解決系

信頼関係を高める

(対象年齢)

小学生以上

(人数)

10～30人

(所要時間)

30分

(準備物)

- ・シート (数枚)
- ・ラバーチキン or もやっとボール (数個)

(手順)

- 1 シートを各グループ (5～10人) に1枚ずつと、チキン (またはもやっとボール) を1つずつ配る。
- 2 シートの端を持たせ、チキンをシートの上に乗せる。
- 3 「チキンを上に上げ、シートで連続で受け取る。」ことを説明する。(10回連続で受け取る。)
- 4 レベルアップ…グループ間でボールを投げ、受け取り合う。(2～3グループで!)

(ふりかえり or ワンポイント…安全面も含め)

- ・ 自分の役目をしっかり果たさないとキャッチできないので、気が抜けない。
- ・ 真剣に取り組める。
- ・ グループ内で、キャッチできたときは嬉しい!!